

3. 若年性認知症とは

認知症は高齢者の病気と思われがちですが、若い世代でも認知症になる可能性はあります。

65歳未満で発症した認知症の総称を「若年性認知症」といいます。

若年性認知症の人は働き盛りで就学期の子どもがいる場合も多くあります。

- ・ 就労している人では職場で最初に症状に気づくケースが多いので、上司や同僚が気づいたことをメモして早期診断につなげましょう。
- ・ 経済的問題を含め本人の不安が大きく、抑うつ状態になる場合もあります。
- ・ 職場では若年性認知症を正しく理解し、安心して働きやすい職場風土を作りましょう。

若年性認知症支援コーディネーターや病院のソーシャルワーカーに相談して助言を受けることができます。

若年性認知症支援コーディネーターは医療機関との連携、若年性認知症の方が利用できる社会保障などサービス情報を支援してくれます。

他にも個別相談、社会参加支援、就労支援の助言を受けることができます。

一人で抱え込まずに、勇気を出して相談してみましょう。

若年性認知症に関する相談窓口

愛知県若年性認知症総合支援センター（若年性認知症支援コーディネーター）

場所 : 大府市半月町三丁目294番地
問い合わせ : 0562-45-6207
メールアドレス : aichi-jakunen@dcnet.gr.jp
受付 : 月～土曜日 10:00～15:00 ※祝日・年末年始は除く
来所や訪問による相談も可能：要予約

若年性認知症コールセンター

問い合わせ : 0800-100-2707
受付 : 月～土曜日 10:00～15:00
水曜日10:00～19:00 ※祝日・年末年始は除く